



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月9日

上場会社名 株式会社 鳥羽洋行

上場取引所 東

コード番号 7472 URL <https://www.toba.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 遠藤 稔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 島津 政則

TEL 03-3944-4031

四半期報告書提出予定日 2022年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	15,072	4.6	917	2.1	982	4.0	679	2.9
2022年3月期第2四半期	14,415	18.2	898	50.8	944	40.2	660	40.3

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 732百万円 (11.7%) 2022年3月期第2四半期 829百万円 (7.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	159.64	
2022年3月期第2四半期	152.56	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	28,935	19,503	67.4
2022年3月期	28,968	19,280	66.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 19,503百万円 2022年3月期 19,269百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		120.00	120.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				120.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	4.3	1,960	0.6	2,070	0.4	1,440	1.1	338.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	4,700,000 株	2022年3月期	4,700,000 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	443,131 株	2022年3月期	447,143 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	4,255,642 株	2022年3月期2Q	4,326,957 株

(注)「従業員向け株式交付信託」が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2022年11月10日にアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済及び日本経済は、多くの国々で新型コロナウイルス感染症との共存が進み、消費マインドの改善が見られました。一方、ウクライナ情勢をはじめとする大国間による地政学的リスクの影響、エネルギー資源や原材料、個人消費材等の世界的な物価高騰、米国の金融政策による米国及びその他諸国の景気後退懸念、中国各地でのロックダウンによる工場稼働停止等、依然として先行き不透明な状況であります。

このような経済環境下における当社グループの国内販売につきましては、半導体製造装置を製造する得意先への販売が、世界的な半導体不足の継続により、好調に推移してまいりました。また、産業用ロボット及び関連するFA機器の販売も、高速通信規格5Gへの設備投資、人手不足による自動化設備の需要の高まりにより、堅調に推移いたしました。自動車関連の得意先への販売は、半導体不足や原材料の高騰も影響し、低迷しておりましたが、徐々に回復傾向にあります。なお、電気自動車関連の設備投資に関しては、依然拡大傾向にあります。海外販売につきましては、中国におけるロックダウンの影響を受け、スマートフォン向け電子部品に関連する得意先への産業用ロボットの販売や自動車生産に関わる得意先への販売が低迷いたしました。

以上の結果、売上高は150億72百万円(前年同四半期比4.6%増)、営業利益は9億17百万円(前年同四半期比2.1%増)、経常利益は9億82百万円(前年同四半期比4.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億79百万円(前年同四半期比2.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末比0.9ポイント増の67.4%となりました。

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して33百万円(0.1%)減の289億35百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末比6億65百万円(3.1%)増の224億27百万円となりましたが、受取手形及び売掛金の増加(4億46百万円)、電子記録債権の増加(3億円)、商品の増加(1億円)と現金及び預金の減少(1億58百万円)が主な要因となっております。

固定資産は、前連結会計年度末比6億99百万円(9.7%)減の65億7百万円となりましたが、投資その他の資産の減少(6億94百万円)が主な要因となっております。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して2億56百万円(2.6%)減の94億31百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末比1億99百万円(2.2%)減の90億38百万円となりましたが、支払手形及び買掛金の減少(2億43百万円)と電子記録債務の増加(4億87百万円)が主な要因となっております。

固定負債は、前連結会計年度末比56百万円(12.6%)減の3億93百万円であり、特記すべき事項はありません。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上(6億79百万円)による増加や、前期決算の剰余金の配当(5億11百万円)による減少などにより、前連結会計年度末と比べ2億22百万円(1.2%)増の195億3百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、89億42百万円と前連結会計年度末に比べ6億58百万円(6.9%)の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により使用した資金は、15百万円(前年同四半期は37百万円の収入)となりました。資金の主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益の計上(9億82百万円)や仕入債務の増加(1億58百万円)であり、資金の主な減少要因は、売上債権の増加(5億71百万円)や法人税等の支払(3億99百万円)であります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により使用した資金は、2億15百万円と前年同四半期に比べ7百万円(3.4%)の減少となりました。資金の増加要因は、定期預金の払戻による収入(5億円)であり、資金の主な減少要因は、定期預金の預入による支出(5億円)と無形固定資産の取得による支出(1億99百万円)であります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により使用した資金は、5億11百万円と前年同四半期に比べ1億44百万円(39.5%)の増加となりました。資金の減少要因は、配当金の支払額(5億11百万円)であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月11日付の当社「2022年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において発表しました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は様々な要因により予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,100,528	9,942,370
受取手形及び売掛金	8,244,562	8,690,892
電子記録債権	3,007,120	3,307,499
商品	275,585	376,305
その他	133,983	110,590
貸倒引当金	-	△72
流動資産合計	21,761,780	22,427,586
固定資産		
有形固定資産	1,955,753	1,942,617
無形固定資産	419,705	428,186
投資その他の資産	4,831,392	4,136,743
固定資産合計	7,206,851	6,507,548
資産合計	28,968,632	28,935,134
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,360,311	3,116,551
電子記録債務	4,769,515	5,256,728
未払法人税等	403,165	303,452
引当金	233,396	167,000
その他	471,238	194,555
流動負債合計	9,237,627	9,038,289
固定負債		
引当金	7,749	8,500
その他	442,485	384,991
固定負債合計	450,234	393,492
負債合計	9,687,862	9,431,781
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,148,000	1,148,000
資本剰余金	1,091,862	1,095,438
利益剰余金	16,676,203	16,843,961
自己株式	△872,166	△861,916
株主資本合計	18,043,898	18,225,482
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,032,246	898,562
為替換算調整勘定	192,874	379,307
その他の包括利益累計額合計	1,225,121	1,277,870
株式引受権	11,750	-
純資産合計	19,280,770	19,503,353
負債純資産合計	28,968,632	28,935,134

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	14,415,498	15,072,799
売上原価	12,331,594	12,913,998
売上総利益	2,083,903	2,158,800
販売費及び一般管理費	1,185,298	1,240,971
営業利益	898,605	917,829
営業外収益		
受取利息	3,167	5,862
受取配当金	25,606	30,453
仕入割引	24,460	26,133
その他	9,211	7,138
営業外収益合計	62,445	69,587
営業外費用		
支払利息	316	-
為替差損	15,252	4,318
その他	1,359	936
営業外費用合計	16,929	5,254
経常利益	944,120	982,162
特別利益		
投資有価証券売却益	4,305	-
特別利益合計	4,305	-
税金等調整前四半期純利益	948,425	982,162
法人税、住民税及び事業税	292,242	301,316
法人税等調整額	△3,946	1,473
法人税等合計	288,295	302,789
四半期純利益	660,130	679,373
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	660,130	679,373

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純利益	660,130	679,373
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	87,135	△133,683
為替換算調整勘定	82,113	186,432
その他の包括利益合計	169,249	52,749
四半期包括利益	829,379	732,122
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	829,379	732,122
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	948,425	982,162
減価償却費	26,225	24,458
貸倒引当金の増減額(△は減少)	-	72
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,589	△30,396
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△27,000	△36,000
株式給付引当金の増減額(△は減少)	6,587	751
受取利息及び受取配当金	△28,774	△36,315
支払利息	316	-
投資有価証券売却損益(△は益)	△4,305	-
売上債権の増減額(△は増加)	△466,022	△571,093
棚卸資産の増減額(△は増加)	182,920	△95,160
仕入債務の増減額(△は減少)	△438,886	158,399
その他	71,800	△49,271
小計	278,877	347,605
利息及び配当金の受取額	29,168	36,312
利息の支払額	△316	-
法人税等の支払額	△270,268	△399,314
営業活動によるキャッシュ・フロー	37,460	△15,395
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,000,000	△500,000
定期預金の払戻による収入	1,000,000	500,000
有形固定資産の取得による支出	△50,971	△6,233
無形固定資産の取得による支出	△170,505	△199,832
投資有価証券の取得による支出	△8,152	△9,680
投資有価証券の売却による収入	6,270	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△223,359	△215,746
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	66,520	-
自己株式の売却による収入	15,646	-
自己株式の取得による支出	△15,646	-
配当金の支払額	△433,285	△511,614
財務活動によるキャッシュ・フロー	△366,765	△511,614
現金及び現金同等物に係る換算差額	27,631	84,598
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△525,032	△658,158
現金及び現金同等物の期首残高	9,673,132	9,600,528
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,148,099	8,942,370

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

該当事項はありません。